

【参考】

表紙部分および切手部分に、空中および地上で撮影したブルーインパルスなどをデザインとして採用しています。

●GIFU AIR FESTIVAL 2013

GIFU AIR FESTIVAL 2013
JAPAN AIR SELF DEFENSE FORCE GIFU AIR BASE

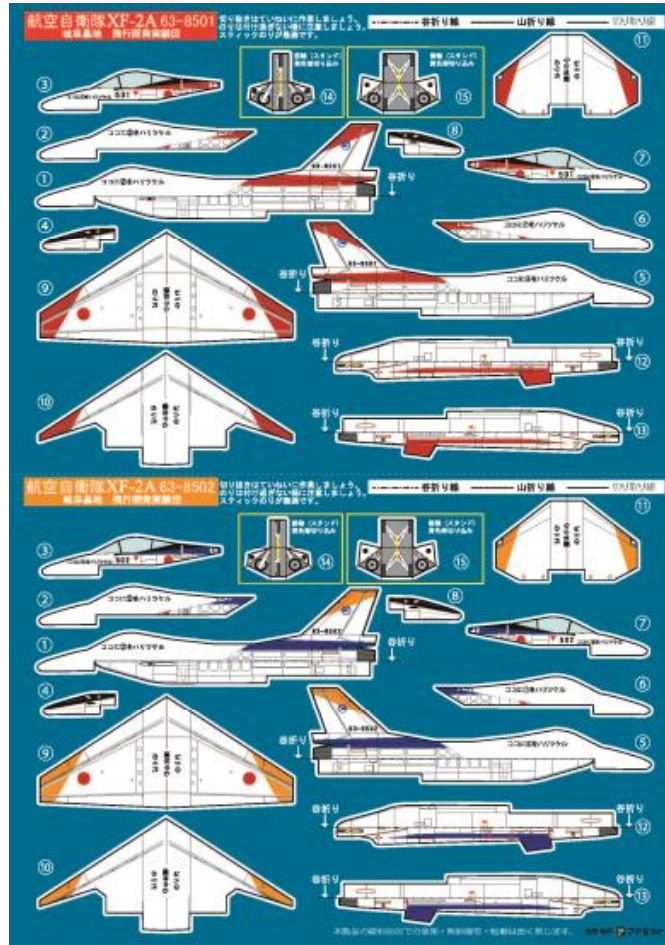
NIPPON 50 NIPPON 50 NIPPON 50 NIPPON 50 NIPPON 50
NIPPON 50 NIPPON 50 NIPPON 50 NIPPON 50 NIPPON 50

○ 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
○ 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

凸版印刷株式会社

●ペーパークラフト

(部 品)



(組立図)

飛ばす1/44室内用紙飛行機
PAPER WING シリーズ
岐阜基地航空自衛隊 XF-2A

組立:1

①②部品は先に機体中央の谷折り線部分で外側に折ってから組み合わせる。折り合わせた部分の折り目をつけずにください。

組立:2

⑩の裏面への折り線は⑨の裏面に中心線と合わせ組み合わせる。

組立:3 車輪スタンドの組立

⑬、⑭は中央の谷折り線部分を⑫の穴に通って組み合わせる。

完成

のりがかむと機体の面がゆがむのを避けておきます。ナスト両面へのりが完全にかまらないうちにのりかむと機体がゆがみます。

■完成品は総長約144スケールです。
■飛ばすことを目的としており、多くの寸法変更がなされています。

各部名称

■紙飛行機を飛ばすには適切な調整が必要です。各部の名称を覚えておくと調整が容易になります。

飛ばす前にチェックしましょう

ココが重要

主翼の上反角、尾翼には下反角をつけてください。

機体の面が、右に左が歪むようにする。つまり、両面は歪みません。

機体を正面から見ると

機体調整上下方向

機体調整左右方向

注意事項

紙飛行機を飛ばすには適切な調整が必要です。各部の名称を覚えておくと調整が容易になります。

紙飛行機を飛ばすには適切な調整が必要です。各部の名称を覚えておくと調整が容易になります。

(表面)



GIFU AIR FESTIVAL 2013



JAPAN AIR SELF DEFENSE FORCE GIFU AIR BASE

> 航空隊とは

国内最大規模の航空祭は、航空自衛隊基地で行われるものです。戦闘機、練習機、ヘリコプターなど多岐にわたる機種の飛行展示から、最新の航空機による編隊飛行、その航空機のパフォーマンスも見られる感動的飛行など見所がたくありません。

また、航空祭の1日限定であるブルーインパルスは、航空自衛隊の展示飛行を見られるのも航空自衛隊の武器展示ならではのものです。

> 航空祭の魅力

航空自衛隊の航空祭は、自衛隊航空隊の中でも特に人気があります。航空隊の母とされるブルーインパルスの飛行展示は、航空祭のメインイベントとして実施されます。毎年基地で飛行展示を実施する機種のC-1、F-2、F-4EJ、F-15J、T-4による編隊飛行など、航空自衛隊の最新鋭の機種の飛行展示が楽しめます。

また、普段はなかなか見ることができない最新の戦闘機の飛行展示も楽しめます。

(裏面)




> Blue Impulse ブルーインパルス

航空自衛隊の航空祭飛行チーム「ブルーインパルス」は1980(昭和55年)年4月18日、美空ひばりにちなんで誕生しました。

航空自衛隊「ワンダーバード」年賀絵巻の「レッドアローズ」が中心となって誕生したブルーインパルスは、赤い機体と白く塗られた機体で「ワンダーバード」のイメージを表現しています。また、航空祭の1日限定であるブルーインパルスは、航空自衛隊の展示飛行を見られるのも航空自衛隊の武器展示ならではのものです。

1984年(昭和59年)10月10日、東京オリンピックの閉会式が行われた国立競技場上空に、大空を五洲一帯が彩るカラーテープで飾られました。オリンピック史上最大のイベントとして、航空自衛隊のブルーインパルスは、航空祭の1日限定であるブルーインパルスは、航空自衛隊の展示飛行を見られるのも航空自衛隊の武器展示ならではのものです。

> 航空基地の歴史

航空基地は航空自衛隊に位置し、航空自衛隊の航空隊としてこの地に置かれました。大正-昭和にかけては、陸軍の「航空隊飛行場」として使用され、航空自衛隊の飛行場としては日本で最も古い歴史があります。戦時により航空基地は航空隊が、その後の昭和29年からは航空隊と飛行場とを兼ねた航空基地として運用され、現在10機以上の航空機が駐機しています。



> 沿革



- 1970年(昭和45年) 航空自衛隊航空隊
- 1971年(昭和46年) 航空自衛隊航空隊
- 1972年(昭和47年) 航空自衛隊航空隊
- 1973年(昭和48年) 航空自衛隊航空隊
- 1974年(昭和49年) 航空自衛隊航空隊
- 1975年(昭和50年) 航空自衛隊航空隊
- 1976年(昭和51年) 航空自衛隊航空隊
- 1977年(昭和52年) 航空自衛隊航空隊
- 1978年(昭和53年) 航空自衛隊航空隊
- 1979年(昭和54年) 航空自衛隊航空隊
- 1980年(昭和55年) 航空自衛隊航空隊
- 1981年(昭和56年) 航空自衛隊航空隊
- 1982年(昭和57年) 航空自衛隊航空隊
- 1983年(昭和58年) 航空自衛隊航空隊
- 1984年(昭和59年) 航空自衛隊航空隊
- 1985年(昭和60年) 航空自衛隊航空隊
- 1986年(昭和61年) 航空自衛隊航空隊
- 1987年(昭和62年) 航空自衛隊航空隊
- 1988年(昭和63年) 航空自衛隊航空隊
- 1989年(昭和64年) 航空自衛隊航空隊
- 1990年(昭和65年) 航空自衛隊航空隊
- 1991年(昭和66年) 航空自衛隊航空隊
- 1992年(昭和67年) 航空自衛隊航空隊
- 1993年(昭和68年) 航空自衛隊航空隊
- 1994年(昭和69年) 航空自衛隊航空隊
- 1995年(昭和70年) 航空自衛隊航空隊
- 1996年(昭和71年) 航空自衛隊航空隊
- 1997年(昭和72年) 航空自衛隊航空隊
- 1998年(昭和73年) 航空自衛隊航空隊
- 1999年(昭和74年) 航空自衛隊航空隊
- 2000年(平成12年) 航空自衛隊航空隊
- 2001年(平成13年) 航空自衛隊航空隊
- 2002年(平成14年) 航空自衛隊航空隊
- 2003年(平成15年) 航空自衛隊航空隊
- 2004年(平成16年) 航空自衛隊航空隊
- 2005年(平成17年) 航空自衛隊航空隊
- 2006年(平成18年) 航空自衛隊航空隊
- 2007年(平成19年) 航空自衛隊航空隊
- 2008年(平成20年) 航空自衛隊航空隊
- 2009年(平成21年) 航空自衛隊航空隊
- 2010年(平成22年) 航空自衛隊航空隊
- 2011年(平成23年) 航空自衛隊航空隊
- 2012年(平成24年) 航空自衛隊航空隊
- 2013年(平成25年) 航空自衛隊航空隊